



※なお、黒田家中での正式な読みは「ぼり」であり、福岡県内(福岡市博物館など)では現在でもこのように書かれることがある(「もり」で間違えというわけではない)。



# 名槍 日本号 呑み取つたり

酒は呑め呑め

呑むならば

日本一(このもといち)のこの槍を

呑み取るほどに呑むならば

これぞ真の黒田武士



なお、この日本号は後の慶長の役で窮地に陥つた友信を救つた後藤基次の手に渡り、基次が出奔する際に母里家に返されて長らく大正時代まで家宝となっていた。その後黒田家に戻る等所有者が転々とした後、現在は福岡市に寄贈され福岡市博物館に現物が、広島城にレプリカが展示されている。